

鎌倉文学館指定管理業務 実績評価（令和4年度第2四半期）

1 利用の承認等に関する業務

(1) 来館者数の動向

7月から9月までの来館者数は10,939人で、昨年度の第2四半期の来館者数7,746人と比較して、3,193人(約141%)増加し、前指定管理期間の同四半期の平均値12,557人と比較して80%以上(約87%)であることを確認した。

(2) 分析

今四半期の来館者数が、昨年度の第2四半期と比較して増加した理由は、新型コロナウイルス感染拡大の状況下においても、社会活動を継続していくウィズコロナの考えが一般に浸透しつつあり、こうした取り組みが来館者数の増加の要因と推測する。

2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

(1) 施設・設備

設備機器の保守点検を計画どおり、適切に実施した。

(2) 文学館資料

ア 収蔵庫内の適切な温湿度管理により、収蔵品を適切に管理した。

イ 文学館資料の特別利用について適正に承認をした。(6件)

3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

(1) 展覧会

ア 特別展「鎌倉時代黎明 文学で読むはじめてのはじまり」(7月1日～7月3日開催)

イ 特別展 子どもたちへ、未来へシリーズ11「長野ヒデ子の世界文学館であそびターイ！」(7月9日～9月19日開催)

ウ 常設展「鎌倉ゆかりの文学」(4月16日～7月3日、7月9日～9月19日開催)

エ ミニ特集「生誕130年 尾崎喜八」(4月16日～7月3日開催)

オ ミニ特集「生誕150年 島崎藤村」(7月9日～9月19日開催)

(2) 普及事業

ア 参加型の文学講座等は感染拡大防止のため中止としたが、代わりに動画配信を実施した。中には、1,000回再生を超える動画もあり多くの人々に文学に親しむ機会を提供した。

イ 玉縄すこやかセンターにおいて講義を行い地域の文学振興に寄与した。

ウ 学生等のインターンシップを受入れることで、若い世代に文学への理解を深める機会を提供した。

(3) その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

ア 展覧会等の実施により、市民の文学に対する理解と関心を高めた。

4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

- (1) 収蔵品の適切な保存及び整理を実施した。
- (2) 資料の補修を適宜実施した。

5 その他市長が定める業務

(1) 文学館資料の調査及び研究

7月

- ・ 特別展および常設展示にかかる調査研究
- ・ 新規購入資料(図書)の選定・受入れ
- ・ 新規購入資料の調査研究
- ・ 「鎌倉逍遥」にかかる調査研究
- ・ 文学講座「文学で読む鎌倉時代黎明期」にかかる調査研究
- ・ 学芸員実習講座にかかる調査研究

8月

- ・ 特別展および常設展示にかかる調査研究
- ・ 新規購入資料(図書)の選定・受入れ
- ・ 学芸員実習講座にかかる調査研究

9月

- ・ 特別展および常設展示にかかる調査研究
- ・ 新規購入資料(図書)の選定・受入れ
- ・ 新規購入資料の調査研究
- ・ 「鎌倉逍遥」にかかる調査研究

(2) 事務処理

- ア 例月の指定管理業務報告書等を期日までに提出した。
- イ 展示替えに伴うホームページの情報更新を適切に実施した。

(3) その他

- ア SNSでの情報発信により、展覧会や関連イベントのタイムリーな情報を、幅広く周知した。
- イ 学校の見学等の受け入れを適切に対応した。

6 全体評価

- (1) 第2四半期の観覧者数(10,939人)は、令和3年度(7,746人)と比較して、3,193人・約141.22%増加であったものの、コロナ禍前の平成28年度から令和元年度までの平均値14,119人に対して77.5%程度にとどまり、来館者数は回復傾向にあると考えられるが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けている状況である。

そうした中、大河ドラマに関連した展覧会企画を開催する他、他館との連携も実施することで時流を掴んだ事業を行っている。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら大きなトラブルなく参加型の普及事業も再開し、実施している点は評価できる。

今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら運営することが求められるが、講座や講演会以外でも、ギャラリートーク等中止している事業の動画配信の実施や、積極的な情報発信等を通してより多くの人に周知し、更なる来館者の確保に努めて欲しい。
- (2) SNSを活用し、随時情報発信することで、鎌倉ゆかりの文学や展示内容に関心のある対象者層に届くように積極的に発信を行っており、その結果Twitterにおいて文学館としては日本で1番のフォロワー数を得ている。今後も、より効果的な広報、情報発信について工夫をし、続けられたい。
- (3) 施設・設備管理について、事業計画に基づき適切に行われている。施設、設備ともに老朽化が進む中、日頃から適宜点検に努め、重大な事態を未然に防いでいる。今後も修繕箇所を予め把握し優先順位をつけて修繕を行っていくよう留意されたい。

鎌倉文学館 令和4年度 第2四半期 判定評価

評価項目	配点	評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができているか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・○ 実施されていない場合・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%